

「進むべき道」は前しかない！

2009/01/22 00:15

人を思いやり、感謝し、よく反省する(続)

駄目なら「死んで仏に詫げる」のが 行の定め

定められた期間のなかで如何に有意義な人生を過ごすか、それは常日頃の自分の立ち振る舞いを通して、有意義な人生にもなるし、小、中、高校と時期がきたら学校も変わるように、あの世とやりに旅立たなければならない時になって、「あの世に行ってから後悔」をするような人生でなく、「頑張れる時に頑張った」方がよりよい人生を送れるのではないかと、近頃はそういうふう思うようになりました。

平成三年から山を歩き始め、いつの間にか九百四十五日という月日が流れておりました。ある日、山を歩いていると小さなスマレの花が咲いておりました。こもれ日があり、雨上がりの日で蝶々が花のまわりを飛んでいました。花は蝶を喜ばず、自分は誰を喜ばせれば済むんだろうか。自分には何ができるんだろうか、と独り言を書いたこともあります。

山を歩き始めてから九年の歳月が経過してました。でも、その心境に至るまではどれほどの涙と汗と知恵を山に流しました。千日回峰行は、くる日もくる日も山を歩きはじめてから一日も休むことなく行は行じなければならぬという決まりがあります。一日四十八キロの山道を約十六時間かけて、年間約四か月をめぐり二百二十数日、山開きの期間を歩き通さなければなりません。

いったん行に入りますと途中で止めることができない。厳しい掟です。万が一、山で足の骨を折る、不慮の事故にあう、体力がつかない、嵐がきても、鉄砲水…など事情があっても途中で止めることができない。進むべき道は前しかないんです。行者はいったん行に入ると生きて満行できるか、できないかは天のみぞ知る。それゆえ行者の定めは、行く道ははずこの里のどまんじゅう、その倒れた所が土をかけたどまんじゅうという行者の定め元に行を行じます。

万が一、これ以上は前に進めないと自分で判断したなら、所持している日本刀で自分の腹を切って、死して仏にわびて行を終えるというのもこの千日回峰行の決まりです。



日本の風景。安産祈願で著名な中央区日本橋にある水天宮。毎月「戌の日」は関東一円からの凄い人出で賑わう（1月17日撮影）。

骨が細くなり体もだんだん小さくなる

毎朝というか、起床するのが夜の十一時二十五分です。午後七時前後に寝ますので睡眠は四時間から四時間半。その

時に足が非常に痛くて腫れ上がり、時には両膝に水がたまったこともありました。いったん行に入ると調子がいいか悪いかではなくて、調子が悪いが最悪か。体のいたる所の故障やケガをかばいながらの行になります。

行って帰ってくるのも困難だと言われる行を年間百二十日続けます。食べるものは握り飯と水だけです。一か月もすると爪がもぼろぼろ、梅雨明けの三か月目の頃には体力も限界を越えるのか血尿が出てフラフラ、そして九月の初旬に行が終わります。

一日の行は午後十一時半にお滝で身を清めます。その後、五百段の階段を上り山に行く装束を身に付けるお部屋に行きます。腰からは袴ですが上は私が身に付けている衣をまとい山に分けいっていきます。山伏の特徴は頭には小さなヘルメットをかぶります。これは草木、岩に頭をぶつけないようにするためです。どうしても蟻がいないか、倒木がないかと下に目がいきますので。もうひとつは前に四つ、後にひとつのぼんぼりをつけます。腰には獣の皮など。これで山に入って汗をかく、雨にあたると非常に重たく、体力が低下しているときは辛いこともありますね。

行に入ると白米とお水だけです。カルシウムがありません。ですから骨が細くなり体もだんだん小さくなります。そして、十二時三十分装束を身につけ、水もち、握り飯をカバンにつめて編み笠をかぶり、杖を持って提灯を持ったところで一人で山に分けいっていきます。けもの道みたいところをただただ二十四キロ先、一七一九メートルの大峯山に向かって行じていきます。平成三年に行が始まってから最初は非常に怖いものもありますが、だんだんと怖いものもなくなります。

食べるものは握り飯と水のみ

毎年、五月三日から始まりますけど六月の梅雨の時期、七月の梅雨明け、八月の真夏、中旬を過ぎると秋になって参ります。寒暖の差が大きく暑いのか寒いのかもわからなくなります。行って帰ってくるまで百十八か所の神社、ほこら、お地蔵で般若心経を拝みます。

夜明けを迎えるのが五時前。そこに一つの休憩小屋があります。その小屋でおにぎりを食べます。そこからさらに十二キロ。ここからが危険な場所で、やまの中腹を四キロ通過します。そこは崖崩れも多く、嵐がくると鉄砲水がでて腰まで浸かったこともあります。

そこを過ぎて残り六キロ。尾根伝いに歩くことは危険を伴います。雷雲の上を通過し、台風の時には風速五十メートル近くにもなります。そんな区間を過ぎて山頂に到着するのが午前八時三十分過ぎ。本堂でお参りをし、ご飯を食べ、来た道を下って参ります。

歩きはじめての五月の頃は非常に苦しいものがあります。上は氷点下、四時間くだると三十度を超える場合もあります。寒暖の差、標高の差も大きいものがあります。そして、四十八キロ歩き終えて本堂へ帰ってくるのが午後三時半ころ。おつとめをさして頂き、自分の装束を洗い、風呂に入って食事を頂き、次の日の行の用意をします。そして、また階段を五百段ほど上っていきますので、また階段を五百段ほど下り、一日のことを日誌につづりその日の行を終わります。



成の出産は「軽い、多産」から来ているという。この日は境内に入るまでに30分も並ばされた。

幸運だった「自分の定め」

辛いとか、苦しいとかがプレッシャーになって、いやだな、行きたくないなという日が不思議と一日もありませんでした。

それは自分が行が好きで、修行が好きだったからだと思います。自分から行に立ち向かって行ったからだと思いません。これが、人からやりなさいと言われたものならば、だんだん嫌になり、心が卑屈になっていったと思います。

自分がなぜこの行をなすことになったんだろうと考えてみますと、自分の小さいころからの家庭環境、生活環境、親のしつけも非常に大きなものがあったと思います。また、小学五年生のときに比叡山の酒井雄哉阿闍梨さんの千日回峰行行者のお姿を見た時に、自分もこの行をしたいと憧れを持ったのも、やはりそういう土台の上に自分があったからなのかなと思います。

中学、高校とその気持ちが一層と強くなってきて、行の世界に自分の気持ちがまっすぐに進んで行ったのも、自分の幸運だった定めかな、と思います(完)。

カテゴリ: [コラむ](#) フォルダ: [指定なし](#)   

[コメント\(8\)](#)

タグ: [塩沼亮潤](#) [大峯千日回峰行満行](#) [酒井雄哉阿闍梨](#) [比叡山](#) [金峯山寺](#) [慈眼寺](#)

コメント(8)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)



Commented by [さくらの こころさん](#)
花うさぎさん、

2009/01/22 08:09

鬱病が国民病と言われるようになって久しい日本で、日本の仏教界に期待をしたいのですが… 檀家とか宗派とか関係なしに、このような心休まるお話をどんどん身近な所で、多くの人にして貰えないものかと思っています。先祖代々の供養だけでなく、現世でも少し身近な存在になってもらえたら…。特に〇ムやS価のようなカルトに走るのではなく、日本人の心、体に沁み込んでいる神仏の教えが、どれほど心に響き、穏やかになれるものかと思わずにはいられません。

テキスト起こしをしてのエントリアップ、ありがとうございました。



Commented by [花うさぎさん](#)
To さくらの こころさん おはようございます。

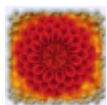
2009/01/22 09:51

>日本人の心、体に沁み込んでいる神仏の教えが、どれほど心に響き、穏やかになれるものかと思わずにはいられません。

本当にそう思います。

この塩沼亮潤さんあその世界では超有名な人で、私のはじめて名前をみたのは月刊誌「致知」でした。しかし、修行に失敗すれば腹を切って死んで仏に詫げる、と聞いたときは、ある種の凄さと覚悟を思い知らされたものです。

追伸 なかなか保守は団結できないものですね…。



Commented by [ei☆さん](#)
こんにちは。素敵なお書き込みですね。心温まります。私事で恐縮ですが今年になり自分らしさを持つとうと思いはじめました。自然と調子を人に合わせてしまうので無理もしました。私は良い面も悪い面もあり日々派遣社員という微妙な立場で自分なりに全力で努力して頑張っている私でいいのだと。自信を持って生きていこうと思います。新未来が楽しみです☆有難う。

2009/01/22 12:27



Commented by [さくらの こころさん](#)
花うさぎさん

2009/01/22 13:40

>修行に失敗すれば腹を切って死んで仏に詫げる、と聞いたときは、ある種の凄さと覚悟を思い知らされたものです。

正直言って、今のお坊さんでそういう修行をしようと思う人がおられたことに、驚きと感動です。やはり育ってきた環境、親の躰の大切を痛感すると同時に、子育て中の私としては考えることが多いです。

2009/01/22 14:26

> 追伸 なかなか保守は団結できないものですね…。
本当に…。 反・反日でまとまらなるとその代償はあまりにも高すぎますよね。



Commented by **花うさぎ** さん
To kyokkyuさん こんにちは。

2009/01/22 14:36

> こんにちは。素敵なお書き込みですね。心温まります。

どうもありがとうございます。

> 日々派遣社員という微妙な立場で自分なりに全力で努力して頑張っている私でいいのだと。自信を持って生きていこうと思います。

それでこそ、日本人ですよ(^^)。

> 新未来が楽しみです☆有難う。

頑張りましょう。こちらこそありがとうございます。



Commented by **花うさぎ** さん
To さくらの ころさん こんにちは。

> 正直言って、今のお坊さんでそういう修行をしようと思う人がおられたことに、驚きと感動です。

千三百年の歴史で二人目ですからね。文字通り命がけ、ビックリします。

正直なところ、チベット騒乱に関して日本の仏教界の対応はなんと歯がゆいものでした。日本が苦しんでいるときに助けてくれた国なのに、です。

> やはり育ってきた環境、親の躰の大切を痛感すると同時に、子育て中の私としては考えることが多いです。

子供は親の背中を見て育つ、といえますから、さくらのころさんのお子さんは大丈夫でしょう(^^)。

> 本当に…。 反・反日でまとまらなるとその代償はあまりにも高すぎますよね。

小異を捨て大同につく必要性が判っているはずなのに、評論家が多くて実働部隊・兵隊が少ないのが致命傷ですね。左翼を利する結果になっていることが判らないのですかね？。



Commented by **yu-kikaze** さん

初めまして。
いつも拝見しています。

2009/01/22 23:13

自民党が景気対策についてのちらしを作成したようです。

http://blog.livedoor.jp/maemuki_news/archives/425010.html
詳細は自民党のHPIに掲載されています。

マスコミも民主だけでなく、自民のことも平等に報道していただきたいものです。マスコミの偏見報道がひどいので、このちらしを近所に配布しようと思っています。

スレ違いではありますが、お許してください。



Commented by **花うさぎ** さん
To yu-kikazeさん こんばんは。

2009/01/23 00:55

> いつも拝見しています。

それはありがとうございます。

> [自民党](#)が[景気](#)対策についてのちらしを作成したようです。

情報感謝です。なかなか良い出来ではないですか(^^)。

> マスコミも民主だけでなく、自民のことも平等に報道していただきたいものです。マスコミの偏見報道がひどいので、このチラシを近所に配布しようと思っています。

これだけベタリだとインクジェットで一枚出力してあとは格安のコピーがよいでしょうね。ご苦労様です。

本当に今のマスコミ報道は酷いの一と言ですね。マスコミへの報復も考える時期に来ているような気がします。